

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
015172_礼文町	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	学校行事準備や複式学級での学習指導に教職員の負担感を感じている。令和6年度実施した推進員の派遣を継続実施してほしいとの要望がある。教職員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が引き続き課題となっている。	協働活動リーダーを、年間220日配置する。 ・常駐化する推進員は、学校行事や複式学級における授業補助等を担い、教員の業務負担軽減を目指して取組む。 ・スキー授業等専門的な指導ができる地域住民を派遣し、教員の業務負担軽減を図る。	・協働活動リーダーを1日5時間、年間220日、配置した。 ・常駐化する推進員は、学校行事や複式学級における授業補助等を担い、教員の業務負担軽減を図った。学校からも継続して配置してほしい旨強い要望がある。 ・その他スキー授業等専門的な指導ができる地域住民を派遣することで教員の業務負担軽減を図った。	地域住民の参画により学校と地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	教職員の月45時間以上の時間外勤務を行う月数割合	30	%	25	25	3 複式学級における授業補助や学校行事等の準備など教員の業務負担軽減につながる取組となり効果的であった。来年度も教職員の時間外勤務時間の縮減に向けてサポートを継続して行う。
015172_礼文町	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	青少年を対象とした活動や居場所が少ない現状がある。そのため、学校放課後、学校長期休業中における各種体験活動の場を提供することが課題となっている。	・昨年度に引き続き青少年を対象とする各種体験活動の場を提供する。 ・地域住民である協働活動推進員を配置する。	放課後子供教室において協働活動推進員である地域住民を主として年間約200日程度実施してきた。特に長期休業中には、地域の特色を生かした体験活動を実施してきた。	地域住民の参画により各種体験活動ができる場を確保・提供することにより青少年の健全育成に付与する。	体験活動を実施する時間	10	時間	15	15	3 学校長期休業中の放課後子供教室を中心に各種体験活動を行った。目標値は達成できたが、より体験活動を行うことの意義を明確にし、参加者にとってわかりやすく達成感等を感じるプログラムを提供し、生きる力等を育む機会としたい。
015172_礼文町	③学校と家庭の課題	読書習慣の定着・読書体験の充実	読書を行う習慣が少ない児童・生徒が増えてきている。また、子どもたちを対象とした読書活動推進に係る体験活動の場が不足している。	・地域住民を主とした絵本の読み聞かせ会を実施し、読書活動に慣れ親しむ機会を定期的実施する。 ・町の図書室のイベントを活用して、子どもたちの読書推進、図書室利用の促進を行う。	・外部講師を招聘して、絵本の読み聞かせ会やそれに付随する工作体験等を行い読書に対する興味・関心を引き立てる事業を実施した。	地域住民の参加により、読書に親しむ機会を確保・提供することにより読書習慣の定着に付与する。	地域住民による読み聞かせ会の時間	3	時間	5	10	5 図書室事業を利用して、子供たちの図書室利用促進を図ることができた。また、地域住民のボランティアによる絵本読み聞かせについては目標知恵を超えることができた。今後も定期的に行うことができるよう、協力を仰いでいきたい。